



第2回
ジュニアヨットクラブジャンボリー2014
実施報告書

2014年9月5日
実行委員長 中川 二郎

1. 概要

昨年初めて行なわれたジュニアヨットクラブジャンボリーを、今年も引き続き開催をすることに致しました。「ジュニアヨットクラブジャンボリー2014」として一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟（以下JJYU）主催で、7月31日（木）～8月3日（日）の3泊4日にて静岡県浜名湖の畔にある静岡県立三ヶ日青年の家で行われました。

今回のジャンボリーの主な狙いとしては、下記の通り。

- ① ジュニアセーラー育成は勿論のこと若いコーチ陣の発掘と養成を図る
- ② 自発的な行動を取れるように、メンタル面での強化を図る
- ③ 整理整頓・清掃・挨拶等日常生活の見直しを行い、生活のけじめをつけさせる
- ④ 水辺の環境を活用した楽しみの要素を入れ、親・コーチもくつろげる場とする

4日間ともに晴天に恵まれ、午前中は無風から微風、11時以降は中風域のウィンドコンディションの中、午前中は全員でオープンビックやスタンドアップパドルボート（通称SUP）そしてカヤックに乗り、楽しいセーリングや防波堤からの飛び込み遊びを体験しました。

午後からはレーザー4.7クラスとオープンビッククラス、OP級上級者、OP級中級者、OP級初級者の4クラスに別れてそれぞれのコーチから指導を受けて練習をしました。

なお、今回のジャンボリーに先立ち、7月27日（日）～31日（木）、青年の家において自主合同練習が企画され、過半の選手が参加しました。



2. 参加者

選手24名、指導者・保護者12名、幼児1名、役員・コーチ10名、8クラブからの参加になりました。又、事前の自主合同練習への参加選手は16名、指導者・保護者・コーチは7名で、クラブ全員参加の合宿として参加したのは2クラブでした。

OP級世界選手権に参加する選手5名と保護者4名が土・日に宿泊しました。練習海面は異なりますが、夜は一緒にキャンプファイヤーなどをして交流もでき、各選手の決意表明もあり、皆でエールを送りました。

3. 協力

地元静岡県セーリング連盟様、NPO法人静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアヨットクラブ様には運営機材やOP艇のチャーター艇の提供、関東水域OP連絡会様には本イベントのアドバイス・紹介等、三ヶ日フィールドパートナーズ様にはスポンサーの情報提供や青年の家の利用についてのアドバイスなどの後援を頂きました。大塚製菓株式会社様からは多くのポカリスウェットの提供を、浜口ウレタン株式会社様からはレスキューボートの提供を、江ノ島ちょっとヨットジュニア並びに biid 株式会社様、ビックスポーツジャパン様よりMC機材、オープンビク・カヤック・SUPなどの提供の協賛を頂きました。紙面を借りてお礼申し上げます。



4. ヤングコーチ

ジュニアヨットクラブジャンボリーは、ジュニアのOB・OGのコーチ育成と先輩として自分の経験を生かした指導を期待できますので選手には最適なコーチであります。但し、指導の経験が少ないことから事前にミーティングを行い、指導方法を打合せしながら進めました。

今後、自分の育ったジュニアクラブの指導を担ったり、居住先の近くのジュニアクラブの指導を手伝う事などを期待しております。以下に各コーチを紹介します。

【神谷花美コーチ】

NPO法人静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブの出身で国体にも出場した経験があります。現在は千葉県木更津の看護師学校に通っている学生です。いつも女子部屋に宿泊し選手のお姉さん格でした。初心者には優しく指導し、生意気な男子にはオープンビクに乗ってレース練習で厳しく接しておりました。



【高橋友海コーチ】

昨年に引き続き参加してくれました。NPO法人静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ出身、静岡大学ヨット部OGの社会人で、オールラウンドに指導が出来ます。ウインドサーフィンも始めているので、来年はウインドサーフィンの持ち込みを検討しています。

【三品順也コーチ】

名古屋ジュニアヨットクラブの出身で愛知大学ヨット部2年生の現役です。選手の中では兄さん役でOP級の上級や中級、オープンビクの指導をして頂きました。大変、子供達が大好きでハーバーで遊んでいる時もいつも子供達と一緒にいました。



【原田洋輔コーチ】

江の島ヨットクラブジュニアの出身で中央大学ヨット部OBです。浜松に勤務する社会人ですが仕事を調整して参加して頂きました。OPの上級指導をしている時に一緒にOPに乗って見本を見せながら指導をしていただきました。



【秋山玄コーチ】

横浜ジュニアヨットクラブの出身で慶応大学ヨット部OBです。甲府に勤務していますが、金曜日の仕事を終わらせてから車で駆けつけて土・日の二日間指導をして頂きました。他人の言う事や親の言うことなどにあまり気を使わずに、責任を持って自分で決めればよいんだよと選手に接していました。

【植田順大コーチ】

静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ出身で、社会人として現役のレーザレーサーでもあります。今回もレーザの指導をお願いしました。技術屋さんらしい細かい説明があり判りやすかったみたいです。



5. 実施内容

【7月31日（木）】

午前中に全国からトラックやトレーラーでヨットやレスキュー艇が搬入されました。皆で協力して会場の準備やチャーター艇の準備を行い、大会受付終了後の11時より開校式を行いました。

この開校式では三ヶ日青年の家のスタッフがこの研修センターの利用方法を説明し、他団体の紹介が行われました。

「三ヶ日青年の家」は研修センターであり、従来の宿舎とは異なる事です。館内では整理・整頓、清掃、挨拶など、規律ある生活を求められます。更に、「朝・夕の集い」では、代表者数名が壇上でスピーチをしたり、各種旗の掲揚と降納を行うことです。

昼食後のブリーフィングでは、各クラスの編成とヤングコーチの紹介、練習方法などの説明を行なわれました。その後出艇し、レーザ4.7クラス、オープンビッククラス、OP級上級者クラス、OP級初級者クラスに別れての練習開始です。南の風5m～7mと最高のコンディションでした。



夜は恒例の座学です。

今年は横浜市立大学ヨット部出身で神奈川県セーリング連盟理事の須藤尊史氏を講師として招き講演して頂きました。

タイ・プーケットから43fクルーザーでの3年間をかけたの世界一週大冒険を行った「ハーモニー号」での経験を、世界地図と写真を交えて聞かせて貰いました。

海賊に狙われないように集団でセーリングする話や、地中海でのラリーツアーの話やガラパゴス諸島でのエンジントラブルの話等を聞きました。

【8月1日（金）】

7時の「朝の集い」では他の団体も含めて全員集合し、国旗掲揚、参加の各団体紹介を行い、その後全員で体操を行いました。団体紹介では毎日2名の選手が自分の抱負などについてのスピーチを行いました。話す内容を考え、人前で、大きな声で発表することは貴重な体験となりました。



続いて、J J Y U選手だけがハーバースロープに集合し、選手みんなの前で一人ずつ前に出て大きな声で本日の目標を発表しました。声が小さいと皆から「やり直し」と指導が出て大きな声が出るまで繰り返されます。当初は声が出せない選手や、涙を流す選手もいましたが、毎朝行くと声が出てくるようになってきました。

7：50より朝食です。昨年十分に出来なかったテーブルや床の掃除を今年は完全に出来るようになりました。食事前後の「姿勢を正してください。頂きます」「姿勢を正してください。ごちそうさまでした」と号令する事が出来ていました。

朝のブリーフィングではJ J Y U熊川理事から簡単な講義がありました。一回目のキーワードは「スポンサーシップ」でした。スポンサーが応援してくれるからこのようなイベントが開催できる旨の内容でした。

午前中は予報通り、無風状態でした。ハーバー内で全員参加のSUP教室、カヤック教室、オープンビック教室です。ハーバー内で大きな笑い声とはしゃぐ声が乱れて飛び交い、オープンビックに何人乗艇出来るのかチャレンジする子供達や4人乗艇SUP競争とかヤングコーチを落とすゲームや防波堤からの飛び込み大会と、それぞれが勝手に遊びを見つけて大興奮でした。



午後は各クラスに分けての練習です。マークを使っでのドリル練習を行うグループ、ハンドリング練習を中心に行うグループ、滑り中心の練習をするグループなどヤングコーチが指導しました。今年4月に入部した選手6名は、陸上での動作練習を繰り返しました。上体のつかい方、エクステンションの動かし方、膝のつかい方など正しい姿勢が中心です。海上ではハーバー内でタックの練習もしました。J J Y U山下委員のコーチングを見習いながらヤングコーチの神谷花実コーチが指導していました。



夜の座学は、まずはJ J Y U山下委員が持参したウクレレで「ジュニアヨットの歌」の練習会を行いました。大きな声で声を合わせて大合唱でした。国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会では歌ってくれることを期待します。

歌の練習の終了後、選手と保護者に分けてミーティングです。選手は各グループに分かれてヤングコーチとのミーティングを、保護者はJ J Y U中川常務理事、熊川理事が参加して保護者から各クラブの様子や相談事を聞きました。

【8月2日（土）】

7：00に体育館で朝の集いを行い、軽い運動と体操を行いました。

朝食後、ミーティングルームに集合し朝のブリーフィングです。J J Y Uの熊川理事からは二つ目のキーワードとして「感謝」と「自分にスイッチを入れる」の講義です。

その後、各グループに別れてヤングコーチのブリーフィングを受けて出艇しました。



午前中はやはり無風でしたが、今日からは自然体験学習も追加されました。一部の選手がアサリ取りを始めました。保護者の方々の協力でおいしいアサリの味噌汁や酒蒸しが出来て選手は大喜びでした。次回も自然学習を採用したいと考えます。朝、ロジから出た時に『クワガタ』を見つけた選手もいました。

子供達は昨日と同じようにハーバー内で水辺スポーツ体験です。

早めの昼食をとり、午後からはレース練習をしました。全員参加の日本一長い「アビームのレース」です。時間は8分ぐらいのコースです。今年4月から入部した選手6名も参加しました。真剣な表情で「ピヨピヨ組」も山下委員や神谷花実コーチの大きな声のアドバイスを聞いて全員フィニッシュしました。このレースは往復で行われました。

そしてジャンボリーの夜のメインイベント「キャンプファイヤー」です。中学生の選手がキャンプファイヤーの準備を行い、火の神は「三重県ヨット連盟ジュニア・ユースクラブの安南帆起君」火の女神は「千葉ヨットビルダーズ

の三浦帆香さん」が燃え盛るトーチを持って山から下りて来て点火しました。

火を囲みながら各クラブの自己紹介と個人の感想を発表しあいました。今年目標を話す人、1学期の学校の成績が悪かったことを話す人、友達を作って帰りたいと話す人、火の力をかりてマイクに向かって話しました。今年OP級世界選手権に出場する5名の選手も参加して大会に向けての抱負を話してくれました。



【8月3日（日）】



今日は最終日です。選手からの要望もあり、各コーチと相談して午前中の風が弱い時間はマリンスポーツ体験とし、昼食後風上マークを打つてのレースを1レース行うこととしました。

レース終了後に表彰式を行いました。JJYU中川常務理事より成績発表を行い、優勝・準優勝者にはポカリスウェットの1ケースを、3位の選手にはペットボトルの水をプレゼントいたしました。

また、株式会社三洋物産様から協賛品として頂いた消せるボールペンを全員に参加賞としてプレゼントいたしました。イベントは終了し、全員で協力しながら艇の積み込み作業を行い、宿泊したロッジや研修室などを清掃しました。

最後に、閉会式を行い、JJYU中川常務理事のスピーチで全てのプログラムを無事終了致しました。

6. 終わりに

各ジュニアクラブが一緒に合宿をしようという企画の第2回目でした。関係団体のご協力を頂いて、実現出来、無事に終了出来ました。

「子供達を育てる」との観点から来年も実施する予定です。選手・保護者・コーチと一緒に全員参加型の環境を作っていきたいと思えます。

最後に、三重県ヨット連盟ジュニア・ユースヨットクラブの指導者である岩井一樹氏にはジャンボリーのマネージメントをして頂き大変助かりました。JJYUとしてお礼申し上げます。

以上

ジャンボリーカップ 2014

成績表

場所: 静岡県三ヶ日

【OP級】

							8月2日				8月3日
							1R	2R	得点	順位	順位
三浦 帆香	ミウラ ホカ	千葉	女	小5	3155	OPA	11	6	17	7	4
佐藤 真心	サトウ マコ	千葉	女	小5	2200	OPB	2	3	5	2	5
望月 翔太郎	モチヅキ ショウタロウ	千葉	男	小4	3154	OPB	7	14	21	13	8
安 南帆起	ヤス ナオキ	三重県	男	中2	2304	OPA	5		10	4	6
若林 幸輝	ワカバヤシ コウキ	三重県	男	中1	2804	OPA	1	10	11	5	1
川戸 洋平	カト ヨウヘイ	三重県	男	中1	2827	OPA	3	1	4	1	12
安 夏都起	ヤス ナツキ	三重県	男	小6	2475	OPB	6	4	10	3	9
藤田 健太郎	フジタ ケンタロウ	三重県	男	小5	1890	OPB	10	12	22	14	11
安 那瑠起	ヤス ナルキ	三重県	男	小5	14	OPB	16	2	18	10	14
服部 友賀	ハツリ ユウガ	三重県	男	小6	827	OPB	15	5	20	12	10
川北 百華	カキタ モモカ	三重県	女	小4	2447	OPC		18	36	20	
服部 りら	ハツリ リラ	三重県	女	小4	2474	OPC		13	26	15	
藤澤 慎悟	フジサワ シンゴ	三重県	男	小4	802	OPC	17	17	34	19	
諸岡 昂	モロカ コウ	三重県	男	小3	1863	OPC	14		28	17	
木村幸希	キムラコウキ	湖山池	男	小4	45	OPB	13	15	28	16	13
重松 駿	シゲマツ シュン	夢の島	男	小4	3176	OPA	8	9	17	9	2
菅野 響	スガノ ヒビキ	夢の島	男	小4	990	OPC	4	11	15	6	
中島 拓海	ナカシマ タクミ	横浜	男	小2	2447	OPC	18		36	20	
古川 悠航	フルカワ ユウコウ	横浜	男	小6	2883/ 2304	OPB	9	8	17	8	3
市川 太陽	イチカワ タイヨウ	浜名湖	男	小5	2928	OPA	12	7	19	11	7
岡村 竜旺	オカムラリュウオウ	浜名湖	男		2883	OPB		16	32	18	

【レーザー、オープンビッククラス】

渡辺 桜香	ワタナベ オウカ	チーム江東	女	中2	112659	レーザー	1	1	2	1	1
平山 皓大	ヒラヤマ コウタ	江の島	男	高1	5923	オープンビック	3	4	7	4	3
沖本 航太郎	オキモト コウタ ロウ	江の島	男	中2	5970	オープンビック	1	3	4	2	2
植田 順大					5921	オープンビック	2	1	3	1	
望月 秀蔵					5991	オープンビック	4	2	6	3	
秋山 玄					5991	オープンビック					1



朝の一言（皆の前で）



自主練習に参加した15名の選手は本当に朝、夜と各1時間勉強しました。集中力とメンタル強化です



ワールド選手との振れあい



普段出来ない飛び込み



普段出来ないリラックス



ちょっとはしゃぎ過ぎ(良かろう)



青年の家の夕食